

二〇二〇年 主な出来事

◆1月◆

- 7 国有林土場等活用委託販売初市 (木曽署)
- 30 緑の回廊八ヶ岳、越美山地、白山山系モニタリング調査検討委員会 (岐阜市)

◆2月◆

- 4 中部森林技術交流発表会 (中部局)
- 17 森林管理署長等会議 (中部局)
- 23 木曽駒ヶ岳植生復元対策検討会 (南信署)
- 24 治山・林道工事コンクール表彰式 (中部局)
- 25 平成二十一年度国有林モニター会議 (中信署)

◆3月◆

- 1 治山・林道工事コンクール伝達表彰 (名古屋事務所)
- 2 低コスト作業システム現地検討会 (3愛知所)
- 9 木曾ヒノキ検討会 (中部局)
- 10 低コスト作業システム (11中信署)
- 11 実務担当者会議 (11中信署)
- 11 森林・林業社会貢献活動局長感謝状贈呈式 (中部局)
- 11 経営係長会議 (12中部局)
- 15 中部森林管理局庁舎耐震改修工事 (中部局)
- 17 西之一色公務員宿舍新築 (飛騨署)
- 18 小諸森林事務所新築 (東信署)
- 23 大洞榎谷合同森林事務所新築 (岐阜署)
- 23 木曽福島公務員宿舍新築 (木曽署)

- 25 信州大学農学部と人材育成等の協定を締結 (信州大学農学部)



生物多様性の保全等を担う人材育成や学術の振興に関し連携・協力を進めるため協定を締結

◆4月◆

- 21 主任安全衛生管理者等会議 (中部局)
- 22 森林管理局長等会議 (林野庁)
- 26 平成二十二年事業概要記者発表 (中部局・名古屋事務所)
- 26 治山設計説明会 (27中部局)
- 27 上高地開山祭 (松本市)
- 29 「みどりのフェスティバル10」開催 (瀬戸市)

◆5月◆

- 8 林野庁主催「平成二十二年森林の市」 (東京都日比谷公園)
- 12 森林管理署長等会議 (中部局)
- 18 生態学的手法を用いた植樹祭 (東信署管内)



地域の潜在自然植生に着目した植樹 (東信署)

◆6月◆

- 20 長野林政協議会総合委員会 (長野市)
- 20 林業事業体育成協議会 (長野県)
- 22 技術開発委員会 (中部局)
- 22 「愛知県植樹祭」開催 (飛鳥町)
- 22 「未来世紀へつなぐ緑のバトン」育樹祭開催 (王滝村)
- 22 「岐阜県みどりの祭」開催 (郡上市)
- 28 「とやま森の祭典」開催 (射水市)
- 29 「長野県植樹祭」開催 (駒ヶ根市)
- 6 林業事業体育成協議会 (岐阜県)

◆6月◆

- 9 岐阜県連絡体制打合せ会議 (29富山県)
- 10 愛知県連絡体制打合せ会議 (岐阜市)
- 10 会計実地検査 (名古屋市)
- 14 富山県林政協議会 (17富山県)
- 29 富山県林政協議会 (富山県)

◆7月◆

- 1 全国安全週間
- 1 国有林観光施設協議会総会 (長野市)
- 9 高山植物等保護対策協議会 (中部局)
- 16 第1回小塩地すべり検討委員会 (中部局)
- 22 平成二十二年度永年勤続職員表彰式 (中部局)

◆8月◆

- 3 教職員森林環境教育研修会 (北信署・南信署管内)
- 4 森林整備協定の調印「社会貢献の森」 (5東信・中信署管内)
- 10 木曾ヒノキ天然更新の提言説明会 (11木曽署管内)



木曾ヒノキ林の持続のための天然更新の方向についての説明会を開催

- 25 総括安全衛生管理者等会議 (中部局)
- 25 流域管理調整官会議 (26中信署管内)

- ◆9月◆
- 1 中部森林管理局総合防災訓練 (中部局)
 - 2 「岐阜県における健全で豊かな森づくりの推進に関する覚書」の締結 (岐阜市)
- 
- 岐阜県と森林づくりの推進に関する覚書を締結 (局長と岐阜県知事)
- 3 平成二十一年度決算概要等の公表 (中部局)
 - 9 森林管理局長等会議 (林野庁)
 - 11 「木曾川・森づくりin赤沢」を開催 (木曾署管内)
 - 15 収穫調査業務委託等説明会 (長野市)
 - 16 全体計画調査 (上高地) 第1回検討会 (16名古屋市) (17富山市) (中信署)
 - 29 低コスト作業システム現地検討会 (北信署)
- ◆10月◆
- 1 全国衛生週間 (1)
 - 1 木づかい推進月間 (1)
 - 2 森林ボランティア・NPO連絡推進会議 (松本市)

- 7 木材利用推進要望活動 (愛知県)
 - 8 ながの緑のオーナー友の会総会 (18岐阜県)
 - 12 低コスト作業システム現地検討会 (大町市)
 - 18 生物多様性条約第10回締結国会議「COP10」等開催 (29名古屋市)
- 
- 中部局も国際会議にブース出展 (COP10)
- 27 全体計画調査 (上高地) 第2回検討会 (28中信署管内)
 - 30 森林計画懇談会 (岐阜署管内)
- ◆11月◆
- 1 第2回小塩地すべり検討委員会 (2伊那谷総合治山管内)
 - 3 森林計画懇談会 (富山署管内)
 - 4 低コスト作業システム現地検討会 (5東濃署)

- 5 森林管理局長等会議 (2930飛騨署)
 - 7 森林計画懇談会 (木曾署管内)
 - 8 国有林所在市町村長有志協議会 (松本市)
 - 8 治山現地検討会 (10東信署管内)
 - 17 森林管理局長等会議 (中部局)
 - 19 保護林モニタリング現地検討会 (中信署管内)
- ◆12月◆
- 1 低コスト作業システム現地検討会 (78愛知所) (南信署)
- 
- 低コスト作業システム (スイッチカーブの作設箇所)での検討: 南信署管内
- 3 全体計画調査 (上高地) 第3回検討会 (中信署)
 - 13 低コスト作業路開設現地検討会 (17岐阜署)
 - 7 平成二十二年国国有林モニター会議 (東濃署)
 - 14 林道担当者打合せ会議 (15中部局)
 - 17 森林計画等検討会 (長野市)

森林ふれあい講座				名古屋シティ・フォレスター事業																
12/11	11/27	11/6	9/4	6/12	5/15	3/14	2/6	 <p>木曾ヒノキ備林に通じる遊歩道の整備を地元ボランティアとともに 行うNCF隊員</p>												
リース作り体験 (名古屋所)	観賞炭づくり体験 (愛知所管内)	木曾ヒノキの森散策 (東濃署管内)	巢箱作り体験 (愛知所管内)	ほたる観賞会 (愛知所管内)	茸毛湿原散策 (愛知所管内)	シイタケ菌打ち体験 (名古屋所)	野鳥観察会 (愛知所管内)	11/13	10/2	9/15	8/6	8/3	7/23	7/10	6/9	5/29	5/21	5/13	4/17	丸根山周辺整備 (名古屋・愛知所)
								間伐作業 (名古屋・愛知所)	遊歩道沿の植樹 (名古屋)	遊歩道チップ敷き作業 (東濃署)	下刈り作業 (東濃署)	モデル林の歩道整備等 (南木曾支署)	宮の大イチイ歩道整備 (飛騨署)	下刈・歩道整備 (富山署)	御岳原生林遊歩道整備 (岐阜署)	樹木見本林整備 (名古屋・愛知所)	遊歩道チップ敷き作業 (木曾署)	金華山登山道周辺整備 (岐阜署)		

二〇一〇年に実施した
森林ふれあい推進事業等



野麦峠と高地トレーニングエリア

「飛騨署」岐阜・長野県境に連なる御岳山と乗鞍岳の中間鞍部岐阜県側一帯には野麦国有林が広がっています。

県境には、野麦峠があり、江戸時代には、旧江戸街道(旧野麦街道)として江戸から赴任した代官・郡代たちの往来や善光寺への参拝道として利用されました。また、越中富山で獲れた鱒を飛騨鱒とし塩漬けにして高山を経由し、信州へ運ばれました。昭和初期に国鉄高山本線が開通するまで、飛騨を支えてきた道がこの野麦街道でした。

明治時代から大正にかけては、政府の富国強兵政策により、製糸産業が活発となり、信州の岡谷など諏訪湖周辺の製糸工場で働くため、飛騨地方から多くの若い女性が冬に往来しました。厳しい労働条件の中で病に倒れ、兄に背負われ飛騨へ帰る途中、「あ、飛騨が見える」と言っただけで息絶えたという少女の悲話は有名です。現在の峠には、地元野麦集落から空き家に移されて、二代目のお助け

小屋として春から秋にかけて営業しています。特に、九月から十月の紅葉シーズンは多くの観光客が訪れています。



峠に立つ「みねの像」



野麦峠の「お助け小屋」

また、御岳山麓北西側の木曾町との県境には、千間樽国有林や胡桃島国有林が広がり、周辺の県道御岳山・朝日線沿いには、標高一、二〇〇メートル、二、二〇〇メートル

かけて広がる比較的緩傾斜な台地(約二、〇〇〇メートル)に標高特性を活かした「飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア」として専用のランニングコース「飛騨御嶽尚子ボルダールード」や日和田ハイランド陸上競技場、クロスカントリーコース等多くの施設が整備されています。特に涼しい夏の間は、全国各地から多



御岳山とスキー場



高トレ拠点の競技場

くの高中生や実業団等のトップアスリートを目指した選手が高地トレーニングの練習の拠点として訪れています。また、エリア内には高い標高を活かし十二月から五月中旬まで滑走可能な「チャオ御岳スノーリゾート」もあり、冬の間多くのスキーヤーで賑わっています。



野麦峠から望む乗鞍岳

▼アクセス (所在地) 岐阜県高山市(野麦国有林・千間樽国有林・胡桃島国有林)

お車でお越しの場合

〔岐阜県側〕国道四一線久々野町から国道三六一号線で約五十分(スキー場・高トレエリア)

野麦峠へは国道三六一号線高根町で県道「奈川野麦高根線」に入り約七十分(長野県側)国道十九号線で木曾町から国道三六一号線経由で約四十五分(スキー場・高トレエリア)野麦峠へは約九十分